



# News Release

2012年10月11日よりBSA(ビジネスソフトウェアアライアンス)は、  
BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス)に改称いたしました。

2012年11月15日

<報道関係各位>

BSA | The Software Alliance

## BSA メンバー企業、福岡市所在の OA 機器販売会社との間で調停成立

BSA | The Software Alliance(本部:米国ワシントン DC、会長:ロバート W. ハリマン II、以下 BSA)は、ビジネスソフトウェアの著作権侵害に関し、BSA メンバー企業であり著作権者のアドビ システムズ インコーポレーテッドおよびマイクロソフト コーポレーションと福岡市所在のオフィスオートメーション機器の販売等を営む会社(以下 A 社)との間で、2012年10月25日に福岡簡易裁判所において調停が成立したことを発表しました。

本事案の端緒は、BSA が開設する「情報提供窓口 (<http://www.bsa.or.jp/report/>)」に提供された組織内不正コピーに関する詳細な情報でした。著作権者が代理人を通じて A 社にインストール状況とライセンス保有状況の自主調査を求めたところ不正コピーが発覚したため和解交渉を続けていました。しかし、概ね合意に至った段階で A 社が和解交渉に応じなくなったため、やむを得ず 2012年7月16日付で福岡簡易裁判所に調停を申し立てこのたび成立したものです。

ソフトウェアの不正コピーは、健全なソフトウェア開発のサイクルのみならず、雇用や経済活動にも悪影響を及ぼし、ひいては安全で信頼できるデジタル社会実現をも阻む大きな問題でもあります。BSA は、適切なライセンス管理を行っている正規ユーザーを保護するためにも、ソフトウェアの不正コピーを使用または放置する企業に対し、引き続き法的手続も視野に入れた権利行使の支援を徹底してまいります。

###

### 【組織内の不正コピーについて】

企業や学校、病院など複数のコンピューターでソフトウェアを使う組織内における不正コピーのことを指しています。現在日本でもっとも多く見られるソフトウェアの不正コピーの形態でもあります。例えば、1 台のコンピューターでのみ使用することが許諾されたソフトウェアのパッケージを入手し、複数のコンピューターにインストールするような場合がこれに該当します。

### 【違法告発.com について】

「違法告発.com」([www.145982\(イホウコハツ\).com](http://www.145982(イホウコハツ).com))は、組織内の不正コピーの実態と情報提供の安全性等を広く訴求することを目的にしたマイクロサイトです。過去の通報案件をヒントに組織内における不正コピーの手口を読み切り漫画で紹介する「違法コピーのある風景」、BSA 日本担当顧問が情報提供の安全性やポイントをお答えする「BSA への情報提供が安心な 4 つの理由」、不正コピーの通報経験者へのアンケートを基に、通報から不正コピー利用状態の改善までの貴重な体験談まとめた「私が決断した理由」の、3 つのコンテンツで構成されています。

### 【「C-SAM ポータル」、「P-SAM ポータル」について】

BSA がソフトウェア資産管理(SAM)推進のために開設した SAM 情報ポータルサイトで、民間企業向けを「C-SAM ポータル( [www.bsa.or.jp/csamportal/](http://www.bsa.or.jp/csamportal/) )」、公共機関向けを「P-SAM ポータル( [www.bsa.or.jp/psamportal/](http://www.bsa.or.jp/psamportal/) )」としています。どちらも、1)ドキュメント・ライブラリ、2)SAM 構築支援会社の紹介、3)講師紹介受付、という 3 つの SAM 支援メニューで構成されており、SAM の理解に役立つだけでなく、担当の方がすぐにでも着手できるよう、構築手順書や規程、記録、基本台帳等といった SAM 運用文書・帳票類を無償公開するとともに、SAM の専門家等の紹介も行っているのが特徴です。

### ◆BSA | The Software Alliance について

BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス)は、世界のソフトウェア産業を代表する業界団体です。70 社を超える BSA 加盟企業は、経済の活性化とより良い現代社会を築くためのソフトウェア・ソリューションの創造に年間数千億円もの投資を行っています。世界各国の政府との意見交換、著作権をはじめとする知的財産権の保護ならびに教育啓発活動を通じて、BSA はデジタル社会の拡大とそれを推進する新たなテクノロジーへの信頼の構築に努めています。

BSA のメンバーには、アドビ システムズ、アジレント・テクノロジー、アンシス、アップル、Aquafold、ARM、オートデスク、ベントレー・システムズ、CNC Software-Mastercam、ダッソー・システムズ・ソリッドワークス・コーポレーション、メンター・グラフィックス、マイクロソフト、Minitab、オルボテック、ピツニーボウズ、プログレスソフトウェア、PTC、クエスト・ソフトウェア、ロゼッタストーン、シーメンス PLM ソフトウェア、サイベース、シマンテック、テクラおよび The MathWorks が加盟し、活動を行っています。詳しくは、BSA 日本のウェブサイト( [www.bsa.or.jp](http://www.bsa.or.jp) )、または、BSA 米国本部のウェブサイト( [www.bsa.org/country.aspx](http://www.bsa.org/country.aspx) / 英語)をご覧ください。

#### 【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

BSA 日本 PR 事務局(MSL JAPAN 内) 担当: 西田、竹内  
TEL: 03-5719-8917 Email: [bsa.jp@msljapan.com](mailto:bsa.jp@msljapan.com)